学校番号	１００７

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	現代文Ｂ						
使用教科書	高等学校改訂版標準現代文Ｂ（第一学習社）						
副教材等	これで合格入試によく出る漢字 2001 新版（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまでの人生経験に照らし合わせ、教材について主体的に思考する姿勢を持ち、自分なりの問いをたてたり、意見を言葉で表現したりできるように心がけましょう。社会と自分、他者と自分といった視点を軸にして、思考力や想像力を豊かにしていけるよう、授業に意欲的に参加する態度が必要です。漢字や語彙に関する知識を深めるため、漢字の宿題、小テストにはこつこつ真面目に取り組んでください。

２　学習の到達目標

・文章を的確に理解し、学習内容を適切に表現することができる。
・ものの見方、感じ方、考え方を深め、想像力や感受性を育んでいる。
・主体的にさまざまな文章に触れ、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す･聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察（出席状況） 記述の点検（ノート、プリント課題等）	行動の観察（発表等の評価）	記述の確認（ノート、プリント課題等）	記述の確認（プリント課題等） 定期考査	記述の確認（ノート、プリント課題等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1ターム	自己を見つめる	教材:「わたしはあなただったかもしれない」	○	◎	○	◎	○	a:要旨を的確に捉え、具体例から筆者の主張を読み解こうとしている。 b：テーマに合わせた内容を聞き手に伝わるように整理して話すことができている。また、発表者が話した内容を的確に聞き取り、どの点がよかったかをフィードバックすることができている。 c:他人の立場に立って想像してみることの重要性について、自己の生き方に引き付けて考え、自分の意見を書くことができている。 d:具体例と抽象的な記述の関係を理解する。 e:漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察、記述の点検 b：記述の点検、発表内容 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト
	小説を読む(一)	教材:「デューク」	○		◎	○	○	a:人物の語りや場面の描写からイメージを膨らませて読もうとしている。 c:最後の場面やその後の主人公の心情について考え、本文の描写を根拠に記述できている。 d:それぞれの場面における登場人物の言葉、行動から、その心情を読み取る。 e:漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認 d:定期考査 e:定期考査、小テスト
2ターム	小説を読む(二)	教材:「相棒」	○		◎	○	○	a:「原くん」と「木山さん」の関係性の変化を読み取り、自分に引き付けて考えようとしている。 c:題名に込められた意味について自分の考えを記述することができている。 d:時間の経過に伴う登場人物の性格・心理・行動の変化を読み取っている。 e:漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察、記述の点検 c:記述の確認 d:定期考査 e:定期考査、小テスト
3ターム	小説を読む(三)	教材:「こころ」	○			◎	○	a:人物の行動や場面の描写から心情の推移について主体的に読み取ろうとしている。 c:登場人物の生き方と、自己の生き方とを対比して、考えたことを自分の言葉でまとめる。 d: 登場人物の性格・心理・行動を読み取り、その変化をつかむことができている。 e:漢字や語句の意味を適切に理解している。	a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト
4ターム			○			◎	○		a:行動の観察、記述の点検 d:記述の確認、定期考査 e:定期考査、小テスト

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。